

特集 たけはら魅力再発見

Vol.6

第6回目となる今回は、平成26年4月に竹原市重要文化財に指定された宿根の大桜の保存活動を行っている「宿根の大桜保存会」の事務局長を務めている原隆太郎さんにお話を伺いました。

●宿根の大桜について

下野町346番地にある「宿根の大桜」といわれる桜は、樹高15メートル、枝張り19メートルを超えるエドヒガンの巨木です。幹が根本から約40～50センチメートルの位置で4本に分かれる「株立ち」状となっており、エドヒガンの株立ちとしては、県下3番目の巨木とされています。正確な樹齢は不明ですが、樹木の大きさから、樹齢200年程度と推測されます。エドヒガンは樹齢が長いと巨木化しやすく、県内でも北部を中心にエドヒガンの巨木が分布していますが、湿気を嫌う性質のため、県南部においては巨木化する例が少ないとされています。

こうした分布の特性から、「宿根の大桜」は県南部において稀有な巨木であり、「株立ち」という特徴的な形態で、竹原市においては特に貴重な樹木であるといえます。

●宿根の保存会の活動について

平成21年から、大井・宿根地区協働のまちづくり協議会環境部会の皆さんが中心となり、竹やぶや雑木の伐採、看板の製作などに取り組んできました。平成30年度をもって協働のまちづくりの活動を終えることとなりましたが、環境部会を母体とした「宿根の大桜保存会」を発足して、引き続き、活動を行っています。

活動は不定期ですが、草刈りや登山道の整備、大桜の剪定・施肥などを行っています。また、登山道脇への花木の植栽とフェンス内の菜の花やアジサイなどの育成も行っています。

活動をしていく上で一番の課題は、会員の高齢化です。私は70歳を超えていますが、会員の中で一番若いです。高齢化が進むと、大桜の維持管理が難しくなるのではという心配があります。でも市内外から桜を見に来る人に「きれいですね」と言ってもらえると大変やりがいを感じますので、できる限り続けていきたいと思っています。

●家族で見に来てください

私は、宿根の大桜を竹原市の誇るべきものの1つになってほしい、少しでも賑わいに貢献できるものになってほしいと思って活動しています。桜が満開に咲き誇る春はもちろんですが、夏、秋、冬と様々な姿を大桜は見せてくれますので、家族と一緒に見に来ていただくと嬉しいです。



宿根の大桜保存会

当初は、大井・宿根地区協働のまちづくり協議会の環境部会が宿根の大桜の保存活動を行っていたが、平成30年度をもってその活動を終えることとなった。そこで環境部会を母体とし、環境部会で活動していたメンバーを中心に平成30年11月に宿根の大桜保存会を発足。現在、会員20名で活動をしている。



▲桜の木が弱らないように、草刈りや大桜の剪定、害虫予防などを行っている。



▲春になると桜が満開に咲き誇り、その姿には圧倒されます。

特集 安田病院 加藤医師インタビュー

～竹原市の産婦人科医療について～



かとう しゅんぺい 加藤 俊平 医師 プロフィール

昭和60年呉市生まれ。平成25年に日本医科大学を卒業後、呉医療センターで初期研修を行った後、広島大学医学部産科婦人科学教室に入局。呉医療センター、安佐市民病院、広島大学病院で後期研修を行い、東広島医療センター、尾道総合病院、県立広島病院で勤務した。現在は安田病院で金曜日午前中の産婦人科外来を担当している。

所有資格は、日本産婦人科学会産婦人科専門医、母体保護法指定医。

今年の4月から安田病院で金曜日の産婦人科外来を担当する加藤俊平医師に産婦人科医療についてお話を伺いました。

●産婦人科医療の現状

私が産婦人科医療に従事し始めた頃はすでに、分娩取り扱い施設や産婦人科医師が減少してきており、妊婦が遠隔地の病院・診療所で出産するケースが当たり前のようになっていました。分業せざるをえない状況は社会的には仕方がないのかなと思います。その代わりに、病院間の情報の共有・連携はしっかりしていけないといけないと感じています。

現在住んでいる地域で出産を希望する方もいれば、里帰り出産を希望する方など、要望は人によっ



▲安田病院の婦人科

て様々なので、個別の事案を確認し、病院間でしっかり連携するように気をつけています。

●診療で大切にしていること

診療する上で大切にしていることは、専門的な言葉をなるべく避けて説明し、理解した上で治療を受けていただくことです。

治療や薬の必要性を理解してもらえれば、患者さんがより積極的に治療に参加できるようになる効果があります。また医師の考えを分かってもらえれば、患者さんも意見を言うことができ、不安感をなくすことにもつながります。「この治療はしんどいな」と言われたら「じゃあ、この治療はどうですか」とメリット・デメリットを含めて提案ができるので、結果として、治療効果を高めることができるのではないかと思います。

●占部産婦人科と安田病院との連携について

3月に東広島市で分娩取り扱い施設「占部産婦人科」が開業しました。安田病院内に分院を設置しており、私は金曜日の産婦人科外来を担当しています。占部医師とは広島大学産婦人科医局の同僚



で、今回お話をいただいて、サポートをさせていただくことになりました。妊婦健診は安田病院で行いますが、分娩は取り扱っていませんので、東広島市の占部医院のほか、連携している産科施設を紹介します。また、安田病院では子宮がん検診や一般婦人科外来も行っていますので、産婦人科に関する悩みや症状があればお気軽に受診してください。

●市民のみなさんへ

私は診療する上で、相手に理解し、納得してもらえるように説明することを心がけています。大きな病院では素早く対応することが求められますが、安田病院ではお話を聞いたり、時間をかけてゆっくり健診やエコーなどができればと思います。気になることがあれば、何でも聞いてくれると嬉しいです。